

# あずさっ子

第1号 発行責任者 校長 宮坂 俊之

**学校教育目標**

**「梓川の大地に根ざして  
豊かに自立する子どもの育成」**

あずさっ子    かしこく  
                  なかよく  
                  たくましく

## 139名の新入生と17名の新たな先生方と共に

例年になく暖かな春の日差しに桜の花が美しく咲いた4月5日(木)、梓川小学校の平成30年度がスタートしました。学校にも、久しぶりに子どもたちの明るい声が戻ってきました。そして、梓川地区地域づくりセンター長の西牧様をはじめ多くの来賓のご臨席を賜り、139名の新入生を迎えて入学式が行われました。学校長式辞の中で「元気にあいさつをすること」を約束しました。来賓の西牧様とPTA会長の米盛様からも、「あいさつ」の大切さをお話していただきました。これから始まる6年間の小学校生活、たくさんのことを学び、たくさんの友だちと出会い、充実した時間を過ごしてほしいと願っています。



また、入学式に先立って始業式が行われ、17名の転入した先生方の紹介と、学級担任発表とともに全職員の紹介を行いました。今年度は、全校児童数919名(昨年度より22名減)、学級数は33学級でのスタートとなりました。始業式では、6年生の代表児童が新年度の決意を発表してくれました。「相手が読みやすいきれいな字を書くこと」「統率力を持ち、頼りになる存在になること」「マラソンをがんばること・図書館をもっと利用すること」「間違いをおそれず発言すること」「運動会の組体操で倒立を成功させること」等、小学校最後の1年間を充実させるために、大切にしたいことを具体的に語ってくれました。

子どもたちとの出会いを大切に、今年度も学校教育目標の具現化に努めて参りたいと思います。本年も、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 新しく本校に着任した先生方

中澤 秀夫	大町市立八坂小学校より	牛山 一郎	松本市立本郷小学校より
中村 三都里	池田町立会染小学校より	渡邊 俊子	松本市立明善小学校より
市川 晃一	塩尻市立塩尻西小学校より	田村 衣代	松本市立波田小学校より
近藤 陽子	塩尻市立広丘小学校より	高野 紀代	松本市立菅野小学校より
寺澤 早苗	中野市立延徳小学校より	松田 祥子	松本市立並柳小学校より
赤羽 美咲	松川村立松川小学校より	熊谷 順治	木祖村立木祖中学校より
久保田 朱音	大学卒	小林 洋介	松本市立会田中学校より
丸山 邦博	松本市立寿小学校より	赤穂 久美子	松本市立梓川中学校より
松山 清香	大学卒		

#### 【お願い】

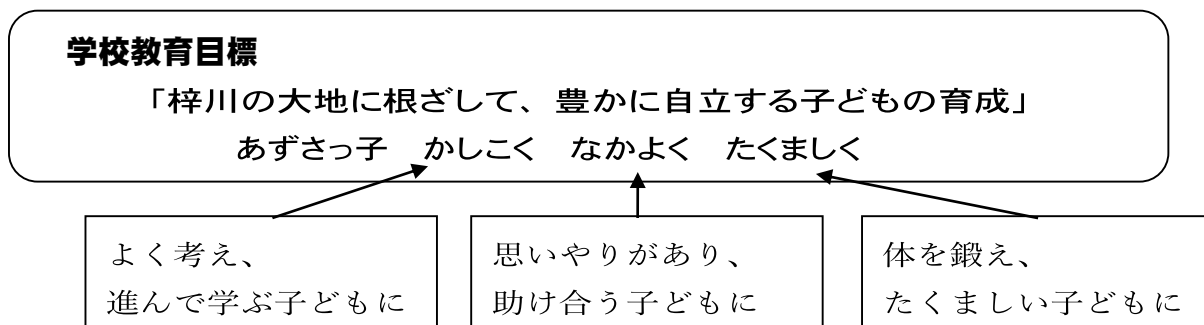
- 小学校は、敷地内禁煙になっております。行事等で来校されることがありますが、ご協力よろしくお願いいたします。
- 昨年度、北朝鮮が発射したミサイルに関わるJアラート(警報)が、何回か出されました。登下校中に警報が鳴った場合、近くの建物(地域の皆様のお宅を含む)に児童が避難させていただく事があるかもしれません。警報が解除されたら、送り出していただければありがたいです。よろしくお願いいたします。

平成30年度職員組織（学級担任・専科・養護教諭・事務・支援員等）

校長	宮坂 俊之	教 頭	上條 昌明、熊井 恵子	養護教諭	寺島千代美、永田華南子
1年1組	中澤 秀夫	3年1組	志村 俊之	5年1組	近藤 陽子
2組	上條 正与	2組	安江 愛	2組	赤羽 美咲
3組	中沢 洋平	3組	市川 晃一	3組	東 美幸
4組	和田 信子	4組	寺澤 早苗	4組	加藤 圭
		5組	瀧澤 雅美	5組	丸山 邦博
2年1組	坂野 正弘	4年1組	下里 聡哉	6年1組	西野 太一
2組	黒岩 環	2組	久保田 朱音	2組	長澤 諒
3組	江口 友希	3組	阿部 愛美	3組	橋本 早苗
4組	松山 清香	4組	三村小百合	4組	小原 妙子
		5組	小口 英男	5組	加藤 良知
特別支援	杉山 義子（なのはな）、濱島 千絵（ひまわり）、高橋 美佳（あおぞら） 矢口 尚（かがやき）、中村三都里（そよかぜ）			栄養士	井ノ口美佳
専科	曾根原 正人（理科）、金子 初音（音楽） 玉井 泉（家庭・音楽）		少人数学級	田村 衣代 渡邊 俊子	自立支援 小嶋 貴子
学習習慣形成	中島公子、高野紀代、松田祥子		特別支援教育支援員	今井美保、雨宮光乃	
事 務	熊谷順治、小林洋介、赤穂久美子		図書館	鱈川次子	施設管理 一志昂太

30年度の重点活動

4月13日に参観日とPTA 総会がありました。その時の校長講話で、これからの新学習指導要領で求められていることや、今年度の梓川小学校の教育活動についてお話させていただきました。その一部を掲載させていただきます。（基本的な部分は、29年度と同じです。）



指導の重点…「自分から行動できるあずさっ子」

合言葉は、下記の3つです。

「進んで学ぼう、きたえよう」「進んであいさつ・元気な返事」「だまりそうじ・みつけそうじ」

昨年も掲載させていただいたことですが、私は「梓川の大地に根ざして」という言葉がとても気に入りました。梓川の地域と関わり 人と関わり 体験を大切にすることが、

学ぶ楽しさを味わい、思いやりの心を育て、体が鍛えられ、

人間としての豊かさにつながっていく…

というビジョンを感じたからです。

情報化、ゲーム、インターネット等 バーチャルの世界に否応なく対応していかななくてはならない子どもたち。最近AI(人工知能)も進化して、車の自動運転やドローンでの小包配送なども現実味を帯びてきています。すごい進歩です。一方で、10～20 年に後には、かなりの職業が人工知能に取って代わられる…という予測もあります。そんな中で私たちに一層求められる資質が、「人間としての豊かさ」だったりするのでは無いでしょうか。そんな心豊かな子どもの育成のために、「子どもは、家庭、学校、地域で育てる」ということを念頭に置き、地域や保護者の方からのご協力をいただきながら、子どもの健全育成に努めていきたいと考えています。 よろしく願いいたします。